【AKT 秋田テレビ 2025 年度第 3 回放送番組審議会】

秋田テレビの 2025 年度第 3 回放送番組審議会（江島清彦会長）が、6 月 17 日開かれ、5 月 24 日に放送された 第 34 回 FNS ドキュメンタリー大賞ノミネート作品「社長のバトン～事業承継のいま～」について審議した。

企業経営者・社長の平均年齢が全国最高となっている秋田県。担い手がおらず事業の継続が困難な状態に直面している企業は少なくない。社長の後継ぎ問題が深刻な秋田を舞台に、さまざまな立場でこの問題と向き合う人々の姿を追った。

委員からは、「ナレーション等で気になる点もなく、作品に集中できた」「事業承継の成約率データ等わかりやすかった。」「洋食屋さんの店じまいのシーンは、ぐっときた。」「事業承継がうまくいった例、うまくいかなかった例など 3 組を対比することで、厚みが出ていた。」「地域における取材力は評価したい。」などの評価があった一方、「事業承継の成約率が低い理由が知りたい。」「番組途中、地域貢献の話になり事業承継の話からずれていた。」「事業承継において、儲かる、儲からないは、かなり重要。」「現状分析や模索だけの型通りの流れだった。新しいアイデアや成功事例が欲しかった。」「希望が持てない終わり方。光を見せてほしかった。」といった指摘もあった。